



まちフォト

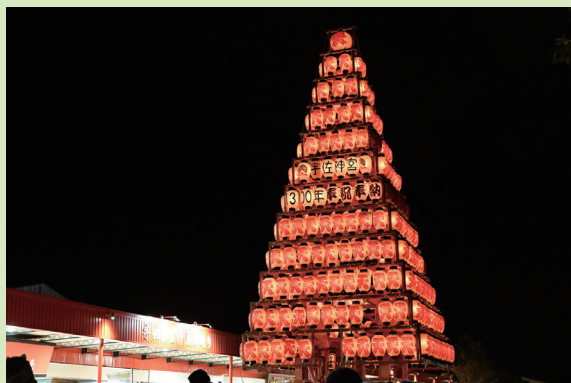
10/6

宇佐神宮御鎮座 1300 年 第 258 回臨時奉幣祭（勅祭）

歴史を感じ、次の 10 年後に思いをはせて



宇佐神宮では、10 年に 1 度天皇陛下の使いである勅使を迎える勅祭が行われました。勅使や神職の行列が御幣物（天皇陛下からのお供え物）を担いで上宮へ奉納し、境内では野だてや神楽奉納などもありました。関連行事として、4 日(土)は 10 人が並んで弓を射る百々手式や流鏑馬神事の奉納、5 日(日)には、約 2,000 人が紅白の提灯を持って勅使街道や呉橋を渡る提灯行列が行われ、斎館前では、勅使 宮内庁の羽倉信夫掌典を前に、後藤市長が歓迎のあいさつをしました。3 日間、多くの参拝者が特別な日を過ごしました。



9/28

戸畑祇園天籟寺大山笠 宇佐神宮奉納

祇園ばやしと大迫力の提灯

宇佐神宮の勅祭を記念して、北九州市の戸畑祇園大山笠（国指定重要無形民俗文化財）が 10 年ぶりに奉納されました。仲見世前から手水舎までの参道を約 200 人の担ぎ手が祇園ばやしと勇壮な掛け声とともに練り歩きました。夜になると、のぼりや豪華な幕を外し、309 個の提灯を付けた大山笠へと姿を変えます。高さ約 10m の提灯が目の前で一気に組み上がると、驚きとともに大きな歓声が上がりました。

9/20

安心院フェア「葡萄酒まつり 2025」

秋晴れにワインで乾杯

9 月 20 日(土)、21 日(日)、32 回目の葡萄酒まつりが、初めて「るるパーク」で催され、県内外から 2 万人の来場者が訪れました。3 種類のオリジナルワインが提供されたほか、市内の高校生による和太鼓や書道パフォーマンスなどのステージイベントが行われました。また、宇佐神宮御鎮座 1300 年を記念し、周遊バスコースに宇佐神宮などの観光名所も組み込まれるなど、おもてなしが詰まった 2 日間でした。





おすすめ情報
お得なサービスや
キャンペーンなど



イベント情報
ワークショップや
展示・発表会など



求人情報
仕事探しやクラブ
のメンバー募集も



10/19 宇佐クロダマル物語 枝豆収穫体験 実りの秋、収穫の喜び！

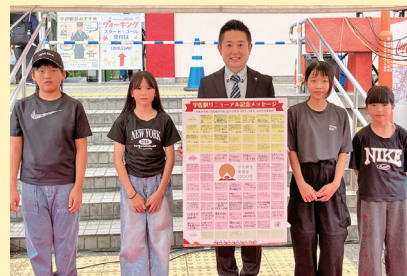
宇佐クロダマルの枝豆収穫体験が、よりもの郷ほ場で開催され、県内外から110人が参加しました。事務局の松本さんは「雨不足に悩まされたが、無事に収穫を迎えられほっとしている」と話していました。クロダマルは市でブランド化を進めている黒大豆で甘みが強いのが特徴です。今回で5回目の参加となる竹田市の山田さん親子は「毎年収穫を楽しみにしています。塩ゆでにして食べると最高です」と話しました。

10/14 宇佐神宮御神能（県指定無形文化財）事前授業 体験を通し、地域の宝を身近に

10月21日（火）に開催された宇佐神宮御神能を前に、宇佐小6年生を対象に事前授業がありました。御神能奉納には、毎年、宇佐小の児童が招待されますが、今年は伝統文化をより身近に興味をもってもらおうと、宇佐神能会の会員5人が紋付・袴を着て、歴史の紹介や能「羽衣」の地謡を披露しました。児童は「歌声の迫力がすごかった」「一緒に歌うのは難しかったけど、おもしろかった」と感想を話しました。



10/12 JR宇佐駅リニューアル記念イベント 宇佐・豊後高田めぐり市 行きたくなる駅、安心安全な駅を目指して



JR宇佐駅は、築50年以上が経過し老朽化していましたが、地域の方たちの意見も取り入れたコンセプトで、待合室とトイレがリニューアルしました。駅舎リニューアルでは、県内初となる優良品計画がデザインや家具などのコーディネートを手がけ、県産木材を使用した扉やテーブルなどに院内の石橋や宇佐神宮のイメージをデザインした温かみのある空間となりました。イベント当日の宇佐・豊後高田めぐり市では、地元小学生によるウェルカムメッセージボードの贈呈や特産品の販売、クイズ大会など楽しい催しでにぎわいました。